

調達価格等算定委員会（第27回）-議事要旨

日時：平成28年12月5日（月曜日）10時00分～12時00分

場所：経済産業省本館17階第1～3共用会議室

出席者

山内弘隆委員長代理、高村ゆかり委員、辰巳菊子委員、山地憲治委員

議題

- 全体にかかる論点について
- 太陽光発電について
- 風力発電について
- その他

議事要旨

1. 全体にかかる論点について

委員

- 複数年度価格の設定に異論はないが、3年間を決めてしまうので、バイオマスの持続可能性についてはどこかで考えていただきたい。
- リプレース価格の設定については、リスクの低下等の観点から合理的である。
- 今回のリプレースの価格設定はこれでいいと思うが、リプレース案件が増加したときは、コストデータを元に算出すべきではないか。
- 認定量・導入量を含め、IRRの見直しの考え方について、今後の課題としてご検討いただきたい。

2. 太陽光発電について

委員

- 10kW未満、以上ともに価格目標に関しては了承。
- 国際価格の水準等のデータは引き続き出していただきたい。
- 入札制度の保証金に関しては、可能な限り多くの事業者の参入と、早期稼働へのインセンティブの創出を両立する観点から、案(2)の運転開始予定日までに運転開始しなかった場合に没収がよい。

3. 風力発電について

委員

- 風力の経過措置は了承。他方でバイオマスと中小水力は経過措置を設けなくていいのか。
- 経過措置は異例の措置であり、限定的なものとするべき。
- 風力のコストを考える上で、系統の問題は重要である。

4. その他

委員

- バイオマスの熱電併給、石炭火力の扱いも引き続き検討すべき。

関連リンク

[調達価格等算定委員会の開催状況](#)

お問合せ先

資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギー課

最終更新日：2016年12月19日